報道関係者各位

2026 年 11 月 26 日
トルコ共和国大使館 文化観光局

COP31 アンタルヤ会議で「観光・文化遺産デー」を開催
持続可能な観光の推進に向け、国内外の専門家が意見交換



COP31 セッション 1 の様子

2026 年 11 月 18 日（水）、トルコを代表する観光都市アンタルヤで開催された第 31 回国連気候変動枠組条約締約国会議（UNFCCC COP31）において、トルコ観光広報・開発庁（TGA）が「観光・文化遺産デー」を開催しました。当日は、国内外の観光業界関係者が一堂に会し、持続可能な観光の実現に向けた取り組みや課題について意見を交わしました。

COP31 は、各国の政府関係者や国際機関、科学者、企業関係者、市民社会の代表者が一堂に会し、気候変動対策に向けた国際協力を強化するとともに、各国の公約を具体的な行動へとつなげるための重要な国際会議です。

気候変動の影響が世界各地で深刻化するなか、観光産業においても、持続可能な発展に向けた取り組みがますます重要になっています。各国の経済発展を支える観光産業の未来は、自然・文化資源の保全や持続可能な投資の促進、そして業界全体で環境への責任を果たしていくことと密接に結びついています。

こうした背景のもと開催された「観光・文化遺産デー」では、トルコが進める持続可能な観光への取り組みを国際社会に発信するとともに、観光産業のさらなる発展に向けた課題や解決策について、国内外の専門家や業界関係者が意見を交わしました。

持続可能な観光の未来をテーマに 4 つのパネルディスカッションを実施

グリーンゾーンで開催された「観光・文化遺産デー」では、オープニングセッションに続き、4 つのテーマ別パネルディスカッションを含む全 5 つのセッションが行われました。イベントには、20 名のパネリスト、4 名のモデレーター、3 名の基調講演者が参加しました。

各パネルでは、持続可能な観光に向けた国家レベルの変革モデルをはじめ、宿泊施設やインフラへの投資、文化遺産の保全、ガストロノミー（食文化）、さらには観光産業全体への持続可能性の浸透など、多岐にわたるテーマが取り上げられました。



午後 1 時 30 分に開会したオープニングセッションでは、TRT World のプレゼンター、アリジャン・アヤンラル氏が司会を務め、TGA 理事兼地中海地域代表のエジェ・トンブル氏、国連世界観光機関（UN Tourism）のシジュン・リウ事務局長、トルコ共和国文化観光省 EU・対外関係局長のギョズデ・シャーヒン博士が登壇し、持続可能な観光の推進に向けた国際連携の重要性を共有しました。続く 4 つのパネルディスカッションでは、国内外の観光・旅行業界や国際機関の専門家が登壇し、持続可能な観光の実現に向けた幅広いテーマについて議論しました。

オープニングセレモニーの様子

最初のパネルでは、カッパドキア大学のハサン・アリ・カラサル学長をモデレーターに迎え、持続可能な観光への転換に向けた国家レベルのモデルや、各国・地域の取り組みについて意見を交わしました。続く 2 つ目のパネルでは、世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）のクリストファー・イムブセン氏が進行を務め、宿泊施設や観光インフラへの持続可能な投資、施設の近代化、イノベーションの役割についてディスカッションを行いました。

3 つ目のパネルでは、国連世界観光機関（UN Tourism）のディリヨル・ハキモフ氏の進行のもと、文化遺産の保全と次世代への継承、ガストロノミー（食文化）が持続可能な観光に果たす役割について議論しました。最後のパネルには、持続可能な観光を目指す非営利団体である Travalyst のキース・ヤン・ブーネン氏がモデレーターを務め、Expedia、Booking.com、DERTOUR Group、Intrepid Travel、easyJet の代表者らが登壇。旅行・観光企業によるサステナビリティへの取り組みや、その業界全体への浸透について意見を交わしました。

ブルーゾーンでも観光分野の気候変動対策と国際連携を議論

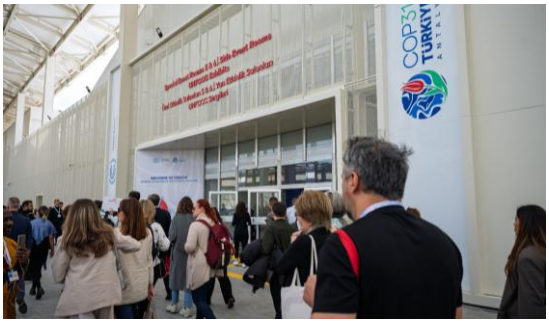
同日、COP31 のブルーゾーンにあるトルコパビリオンでも、「観光テーマデー」の一環として、観光分野における気候変動対策をテーマとしたパネルディスカッションが開催されました。トルコ、国連世界観光機関（UN Tourism）、ブラジル、アゼルバイジャンの代表者らが登壇し、廃棄物ゼロ、電化、レジリエンス、投資に向けた政策やパートナーシップについて議論しました。

また、別途開催されたサイドイベントでは、TGA、世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）、国連開発計画（UNDP）、トルコホテル経営者連盟（TÜROFED）の代表者が参加。持続可能な観光への転換における官民連携や国際機関の役割、気候変動対策に対する観光産業の貢献について意見を交わしました。

アンタルヤの文化遺産と国際的な観光地としての魅力を発信

COP31 の開催期間中、海外からの参加者に向けて、アンタルヤの文化・観光資源を紹介する取り組みも行われました。新たに整備されたアンタルヤ考古学博物館の 2027 年の開館予定や、スィデでの夜間博物館体験の実施に加え、会議期間中は各国の公式代表団を対象に、文化観光省が運営する博物館や遺跡への無料入場の機会も提供されました。

さらに、COP31 に関連する視察旅行やプログラムを通じて、国際会議・展示会・イベントの主催者、旅行会社、オンライン旅行会社（OTA）、海外メディアなど、40 名以上の海外関係者を迎えました。



COP31 アンタルヤ会議の様子

アンタルヤ EXPO 施設の視察や観光資源の紹介を通じて、国際会議や見本市、大規模イベントの開催地としての魅力を積極的に発信しました。

トルコについて

トルコはアジアとヨーロッパを結ぶ要所として、何世紀にもわたり文化的な交流と多様性の拠点と考えられてきました。多様な文明が反映された歴史、遺跡、自然や美食を有し、多目的なデスティネーションです。伝統とモダンが融合した芸術やファッションをはじめ、ダイナミックなショッピングやエンターテインメントライフによって世界中から訪れる人々を魅了し続けています。2025 年には全世界から過去最高の約 6,400 万人の観光客が訪れました。2023 年にトルコ共和国として建国 100 周年、2024 年には日本との外交関係樹立 100 周年を迎えました。

トルコの詳細は公式ウェブサイト（https://goturkiye.jp/）または以下の SNS をご覧ください。
Facebook: https://www.facebook.com/GoTurkiye.jp
X(Twitter): https://twitter.com/GoTurkiye_jp
Instagram: https://www.instagram.com/goturkiye_jp/
YouTube: https://www.youtube.com/c/tourismturkeyjp

トルコ観光広報・開発庁（TGA）について

トルコ観光広報・開発庁（TGA）は、国内外の観光市場においてのトルコのブランディングを確立させ、観光やビジネスにとって魅力的な渡航地としての認知を高めるため、文化観光省が定めた観光戦略や政策に基づき、あらゆるプロモーション、マーケティング、コミュニケーション活動を行っています。世界各地の現在の観光機会を促進・販売するとともに、観光の潜在的分野を発見・改善・確立していきます。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
トルコ共和国大使館 文化観光局 広報代理店
キャンドルウィック株式会社 （杉田、大村）
Email: t-turkiye@candlewick.co.jp
Tel: 03-6261-6050　Fax: 03-6261-6051